

警報発令

県内全域にインフルエンザの警報を発令しています

～手洗い、咳エチケット等予防に努めましょう～

新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課

1 流行状況

- 令和7年第2週（令和7年1月6日～令和7年1月12日）のインフルエンザの定点当たりの報告数は 35.36 と前週の 21.97 に比べ 1.61 倍 に増加しました。
※年末年始期間に入る前である2週前（令和6年12月23日～12月29日）の報告数の 38.08 に比べ 0.93 倍 に減少しています。（参考：2週前 38.08、3週前 24.39）
- 終息基準（定点当たり報告数10）を下回るまで警報を継続します。

【参考】

- 流行期入りの目安
注意報の基準
警報の基準
- 今シーズンで初めて、全県で流行期入り、注意報、警報基準を超えた週
流行期：2024(令和6)年第46週（11月11日～11月17日）：定点当たり 1.75
注意報：2024(令和6)年第50週（12月9日～12月15日）：定点当たり 10.34
警報：2024(令和6)年第52週（12月23日～12月29日）：定点当たり 38.08
- 直近のシーズンで初めて、全県で流行期入り、注意報、警報基準を超えた週
流行期：2023(令和5)年第38週（9月18日～9月24日）：定点当たり 2.35
注意報：2023(令和5)年第43週（10月23日～10月29日）：定点当たり 12.12
警報：2023(令和5)年第47週（11月20日～11月26日）：定点当たり 30.31

2 予防方法等

- 外出が必要な場合はマスクを着用し、人混みを避けてください。
- 具合が悪いときは外出を控え、イベント等への不参加を徹底しましょう。
- 発熱や咳などの症状がある方は、登校／出勤はしないようにしましょう。
- 外出からの帰宅後は手洗いを徹底してください。
- バランスのとれた食事と十分な睡眠で基礎体力をつけてください。
- 室内では、適度な湿度（50～60%）を保ってください
- 基礎疾患（慢性肺疾患、免疫不全状態、慢性心疾患、糖尿病、腎臓病等）のある方や妊婦は重症化する例もありますので、予防には特に注意してください。
- り患したと思われる場合は、早めに医療機関を受診してください。

3 学校保健安全法における扱い

- 第二種感染症として定められており、発症から5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで出席停止となります。ただし、病状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めたときには、この限りではありません。